

「フリードリヒ・エンゲルス」から

なんという理性の燈火が消えたことだろう、
なんという心臓が鼓動をやめたことだろう！

組織されたプロレタリアートの歴史的役割

マルクスとエンゲルスは、労働者階級とその諸要求とが近代経済制度の必然的な所産であり、この制度はブルジョアジーをつくりだすと同時に、不可避免的にプロレタリアートをつくりだし、組織するということをしめした最初の人であった。彼らは、人類を、こんにちそれを抑圧している災厄からすくい出すものは、個々の高貴な個人の善意の企てではなくて、組織されたプロレタリアートの階級闘争であることを、しめした。マルクスとエンゲルスは、社会主義とは夢想家の思いつきではなくて、近代社会の生産力の発展の終局の目標であり、必然的な結果であることを、その科学的労作において明らかにした最初の人であった。こんにちまでの成文史の全休は、階級闘争の歴史であり、ある社会階級の他の社会階級にたいする支配と勝利の交替の歴史であった。そして、これは、階級闘争と階級支配との基礎であるもの——すなわち、私的所有と無秩序な社会的生産とが消えさるまでは、こんごもつづくであろう。プロレタリアートの利益は、これらの基礎を廃棄することを要求する。だから、組織された労働者の意識的な階級闘争は、これらのものにたいして向けられなければならないのである。そして、いっさいの階級闘争は政治闘争である。

マルクスとエンゲルスが労働者階級にたいしてなした貢献

マルクスとエンゲルスは、プロレタリアートの発達にたいするこの一般の恐怖とは反対に、プロレタリアートの不断の成長にいっさいの望みをかけた。プロレタリアの数が多くなればなるほど、革命的階級としての彼らの力もますます大きくなり、社会主義はますます近づき、ますます可能なものとなる。マルクスとエンゲルスが労働者階級にたいしてなした貢献は、数言でつくせば、つぎのように言いあらわすことができる。彼らは、労働者階級に自分か認識し自覚することをおしえ、夢想を科学でおきかえた、と。

社会主義者がしなければならないこと

ヘーゲルの哲学は精神や理念の発展を論じていた。それは**観念論的**であった。それは、精神の発展から、自然、人間および人的・社会的関係の発展を結論していた。マルクスとエンゲルスは、永遠の発展過程というヘーゲルの思想を保存しながらも、観念論的な先入観を放棄した。彼らは、生活に目をむけることによって、精神の発展が自然の発展を説明するのではなく、その反対に、精神を自然から、物質から説明しなければならないことを知った……ヘーゲルやその他のヘーゲル主義者とは反対に、マルクスとエンゲルスは唯物論者であった。世界と人間を唯物論的に観察した結果、彼らは、いっさいの自然現象の基礎には物質的な原因があるのと同じに、人間社会の発展も、物質的な生産力によって条件づけられていることを知った。人間の欲求を充足するのに必要な物質の生産にあたって人間がたがいにむすぶ関係は、生産力の発展によってきまる。そして、これらの関係によって、社会生活のいっさいの現象、人間の志向、観念、法律が説明されるのである。生産力の発

展は、私的所有に立脚する社会関係をつくりだす。しかし、こんにちでは生産力のこの同じ発展が大多数者から財産をうばい、それを極少数者の手中に集中していることを見るのである。この発展は現代社会制度の基礎となっている〔私的〕所有を廃棄する。この発展そのものが、社会主義者が自分の目標としているのと同じ目標にむかってすすんでいるのである。社会主義者がしなければならないことは、どういう社会勢力が現代社会にそれが占める地位からして社会主義の実現に利益をもっているかを理解し、この勢力に、それ自身の利益と歴史的任務とについての意識を付与すること、このことだけである。そういう勢力とは、すなおちプロレタリアートである。

『イギリスにおける労働者階級の状態』の根本思想

エンゲルス以前にも、プロレタリアートの苦難をえがいて、これをたすける必要を指摘した人々は、はなはだ多かった。エンゲルスは、プロレタリアートが苦難する階級であるだけにとどまらないこと、プロレタリアートがおかれている恥ずべき経済的地位そのものがさからいがたい力で彼らをまえへおしすすめ、自己の終局的解放のためにたたかわせるということを、最初にかたった人であった。そして、たたかうプロレタリアートは、自力で自分をすくうであろう。労働者階級の政治運動は、かならず労働者に、社会主義以外には自分らに活路がないことを自覚させるようになる。他方では、社会主義は、労働者階級の政治闘争の目標となつてのみ、はじめて一個の力となるであろう。これが、イギリスの労働者階級の状態についてのエンゲルスの著書の根本の諸思想である。

第二巻 フリードリヒ・エンゲルス P3～6 1895年秋に執筆